

# 探究活動の集大成披露

## LGBTQ十などテーマに

札幌西陵高校（岩田努校長）の3年生は4日、総合的な探究の時間「SDGs探究」の学習成果を発表した。各テーマの代表14班が1・2年生に向けて、LGBTQ十やアフリカの児童

丸山宏昌講師を招いたSDGs講演会を通じて、17の目標や取組について知見を広げた。テーマ設定に当たっては「あなたが取り組みたい目標は、全17のうち何番？」と、講演会での学びや生徒自身の興味・関心に沿って投票。12番「つくる責任」を1番多く選んだ。14番「海の豊かさを守ろう」、11番「住み続けられるまちづくりを」など得票順に上位7目標を採用し、クラスの垣根を越えて6人前後の班をつくった。

責任つづかう責任、14番「海の豊かさを守ろう」、11番「住み続けられるまちづくりを」など得票順に上位7目標を採用し、クラスの垣根を越えて6人前後の班をつくった。

「早すぎる結婚」という課題を設定したグループは、アフリカの児童婚について発表。国際NGOプラン・インターナショナルのCMを見て興味を持ったことをきっかけに、この課題を設定。同組織にインタビューを行ってスライド資料を作成した。

同組織による寄付活動や支援実績に対する理解を深めるうちに、児童婚がもたらす問題を広く周知すること、法改正に向けて署名活動や提言を出すことの重要性を確認。「女性は学校に行かず、すぐ結婚するもの」という先入観をなくしたいかなければならない」とし「自分たちができることか



3年生の代表班が探究学習の成果をプレゼン

各班は、目標実現に向けた「企業・行政・大学の取組事例」「私たちにできること」という疑問をもとに、調べ学習や外部への取材を行い、自分の考えをまとめた。探究活動の集大成となったこの日は、クラス内発表で選ばれた代表14班が、約10分間のプレゼンテーションに臨んだ。

目標の5番「ジェンダー平等を実現しよう」のもと「早すぎる結婚を知る」という課題を設定したグループは、アフリカの児童婚について発表。国際NGOプラン・インターナショナルのCMを見て興味を持ったことをきっかけに、この課題を設定。同組織にインタビューを行ってスライド資料を作成した。

同組織による寄付活動や支援実績に対する理解を深めるうちに、児童婚がもたらす問題を広く周知すること、法改正に向けて署名活動や提言を出すことの重要性を確認。「女性は学校に行かず、すぐ結婚するもの」という先入観をなくしたいかなければならない」とし「自分たちができることか